

# 目次

1 キャンパの運転注意事項	11 ソファベツ
2 電源について	12 ルーフベツファン
3 発電機(ジェネレーター)	13 エントランスステップ
4 LPアラーム	14 エントランスドア
5 ガスクリーンヒーター	15 トイレ
6 ガスコンロ	16 サイドオーニング
7 冷蔵庫	17 給油
8 温水ボイラー	
9 リアヒーター&クーラー	
10 外部電源入力	

# 1 キャンパーの運転注意事項

1. 走行中はガスの元栓を閉めガス器具の使用は絶対しないで下さい。
2. キャンピングカーは一般の乗用車に比べ重心が高いため走行中のローリング（横揺れ）やピッチング（縦揺れ）が大きくなります。また、車体の表面積が大きく横風の影響を受けやすいので高速走行時などにおいては特に注意して安全運転に心がけて下さい。
3. この車両は一般車両に比べてリアオーバーハング（後車輪から最後部までの寸法）が長くなっています。このため、段差のある場所や急角度ハンドルでの運転について充分注意して運転して下さい。
4. 走行中は、転倒事故防止のため、お子様などが座席に立つことの無いよう、特に注意してください。
5. 走行中は、必ずリアドア（後部エントランスドア）のロックをして、リアドア付近には絶対立たないでください。
6. 車室内には、お子様が操作すると危険な設備があります。お子様がこれらの操作をしないよう充分注意してください。特に、ガス器具、ソファベッドを操作する時は危険ですので必ず大人が注意して操作して下さい。
7. 冷蔵庫は、走行中とキャンプ中、AC100V電源の有無などによって、使用方法が異なります。別紙の説明をよくお読みになってお使い下さい。
8. 車のルーフ部には点検、清掃時のみに、必ずエンジンを止め大人1人で昇降して下さい。滑りやすい上に、人の動きで大きく揺れ転落事故の危険性があります。
9. 車から離れる時は、LPガス、火気等には充分注意して下さい。

## 2 電源について

### 機能

#### 1. オルタネーターによるバッテリーの充電(電圧感知リレー方式)

- ・車両オルタネーターは90Aです。走行充電はメインバッテリーが優先されメインバッテリーの電圧が13.6Vに達すると自動的に並列接続しているサブバッテリーにもメインバッテリーと同時に充電されます。
- ・走行充電の能力は走行時のバッテリーの使用状況により変化します。たとえば、夏の夜間、フロント、リアエアコンの同時作動、ヘッドライト点灯、冷蔵庫作動、テレビまたはオーディオなど電気を多く使っている時は、サブバッテリーの充電まで追いつかない場合があります。その場合は、なるべく電気を節電して下さい。

#### 2. 外部電源によるバッテリーの充電

- ・AC100Vを入力することによってバッテリーを充電することができます。オートバッテリーチャージャーは最大30Aの能力があります。サブバッテリーが最初に充電されサブバッテリーの電圧が13.6Vに達すると自動的に並列接続しているメインバッテリーにも同時に充電されます。

#### 3. キャンパー部の12V電源供給(充電されていない場合)

- ・キャンパー部の電装品(照明、ポンプ、ファン、ヒーター、その他)への電源供給はメインバッテリー、サブバッテリーの両方から並列に供給されます。両方のバッテリーが12.4Vになると自動的にメインバッテリー保護のためサブバッテリーからのみの電源供給に切り換わります。

### 3 発電機(ジェネレーター)

#### 注意事項

1. 発電機を運転したまま車室内で就寝しないで下さい。(排気ガスは有害です)
2. 運転中に燃料タンクに給油しないで下さい。(燃料が熱で引火する恐れがあります)
3. 発電機、燃料タンク付近では、喫煙、裸火の使用はしないで下さい。
4. 本体カバーは、絶対に外さないで下さい。
5. 駐停車中に使用する場合、マフラーの近くに枯葉やゴミなど燃えやすい物がないか確認し取り除いて下さい。

#### 始動方法

1. コントロールパネルの赤色の電源スイッチを押して下さい。
2. 次に緑色のスタートスイッチを押しつけて下さい。(連続して5秒以上押さないで下さい)
3. エンジンがスタートしたらスタートスイッチから手を離して下さい。
4. 外気温が低くエンジンがかかりにくい時は白色のスイッチ(チョーク)を押しながらスタートスイッチを押して下さい。

横向きソファの左下にあります



スタートスイッチ    チョーク    電源スイッチ

#### 注意

始動手順は5回以上繰り返さないで下さい。  
スターターが破損する恐れがあります。

#### 停止方法

1. コントロールパネルの赤色の電源スイッチを押し戻して下さい。

#### 注意

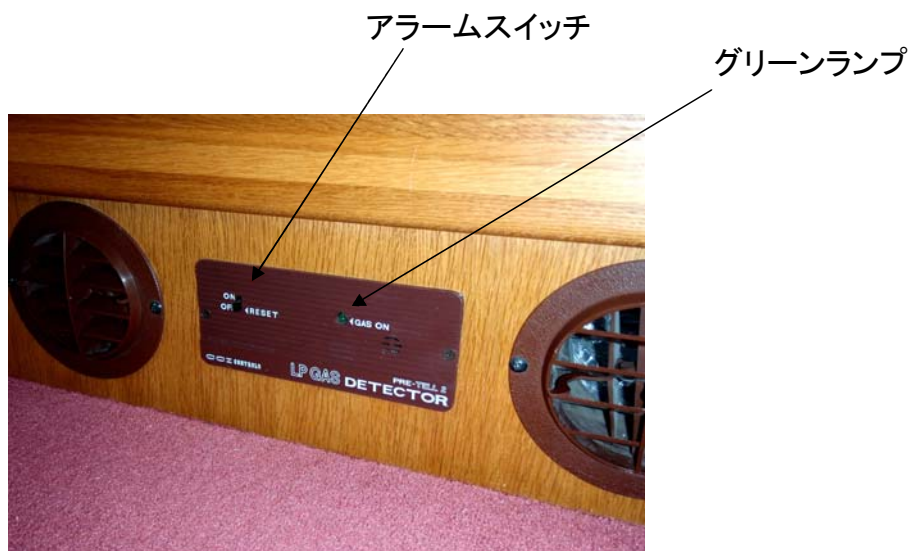
エンジンが始動したらレンジなどの電気器具を使用する前に必ず無負荷状態での暖機運転を2～3分行って下さい。  
エンジンを停止する前にも、3～5分の無負荷運転を行って下さい。

## 4 LPアラーム

これはガス漏れ警報機(LPアラーム)と遮断弁(カットオフバルブ)が組合わさったシステムです。作動はDC12V電源を必要とします。(約1A)

### 使用方法

1. LPガスボンベの元栓を1回半くらいまわして開けて下さい。
2. LPアラームのスイッチをONする。  
ピッ、ピッ、ピッと30秒ほど音がなり、グリーン色のランプが点滅します。  
このときカットオフバルブが開き各ガス器具へガスが供給されます。
3. 万一、ガス漏れが発生した時はピピピピピーッと警報音が発せられ同時にカットオフバルブが閉じ、ガスの供給を止めます。  
速やかにLPアラームスイッチをOFFし、ガスボンベの元栓を閉めて換気をして下さい。
4. ガス漏れの原因が分かり修理するまではガスの使用は中止して下さい。
5. サブバッテリーの電圧が下がるとカットオフバルブは閉じます。  
その時は、LPアラームをOFFし、ボンベの元栓を閉めてから、サブバッテリーの充電を行って下さい。電圧が正常に成りましたら、再度LPアラームをONしてガス器具を使用して下さい。



クローゼットの下にあります。

## 5 ガスクリーンヒーター

### 使用方法

1. LPガスボンベの元栓を1回半くらいまわして開けて下さい。
2. LPアラームのスイッチをONして下さい。
3. 壁にあるコントローラーのスイッチをONにしてサーモスタットの温度を設定して下さい。(スイッチを入れて20秒ほどでファンが回りだし、送風されます。その後、自動点火し約1分で温風になります。)
4. 吹出し口は、クローゼット下の2箇所とシャワールーム内に1箇所あります。
5. 止める場合はコントローラーのスイッチをOFFにして下さい。自動的に消火し30秒ほどでファンが止まります。



LPアラームの左右



温度計      サーモスタット  
コントロールスイッチ

### 注意

車体右側に燃焼給排気口があり、作動中は高温の排気が出ますので、使用中に触れたり、ふさいだりしないで下さい。  
また、長時間窓を閉めきって使用するときには必ず定期的に換気して下さい。  
温風の吹出し口もふさがないようにして下さい。本体内部が加熱し、リセットスイッチが働くときがあります。

## 6 ガスコンロ

このガスコンロは使用中に万一立ち消えしても自動的にガスの供給を止める装置がついています。

### 使用方法

1. LPガスボンベの元栓を1回半くらいまわして開けます。
2. LPセンサーのスイッチをONにします。
3. コンロのガラスカバーを跳ね上げます。
4. 火力ダイヤルを炎のマーク大に合わせ押したまま点火ボタンを押して点火して下さい。
5. 着火後、火力が安定したらダイヤルをはなし、火力調整をして下さい。
6. 消す場合は、火力ダイヤルを●の位置に戻します。

### 注 意

火を使用する場合は、必ず換気をして周りに燃えやすいものが無いことを確かめてから使用して下さい。

走行中は、安全のため、ガス器具、火気の使用は禁止です。



点火ボタン

火力ダイヤル



## 7 冷蔵庫

この冷蔵庫は3WAY冷蔵庫です。熱源はAC100V、DC12V、LPガスと使用環境にあわせ選択できます。熱吸収式はコンプレッサー方式と違い振動、作動音もほとんど無いキャンピングカーには最適な冷蔵庫です。使用中は必ず車両を水平にとめて下さい。

### 消費量

・AC100V時	125W
・DC12V時	120W(10A)
・LPガス時	14.5g/h



### LPガス使用の場合

1. 冷蔵庫の電源がすべてOFFであることを確認して下さい。
2. LPガスボンベの元栓を開けて下さい。
3. LPアラームのスイッチをONして下さい。
4. 電子イグナイタースイッチ(オレンジ色)を入れるとパチ、パチとスパーク音がして、ランプが点滅します。
5. ガスコントロールダイヤルを押さえたまま、炎マーク(大)にダイヤルを合わせる。
6. 電子イグナイターの点滅がとまり、冷蔵庫内の左下部の丸い確認窓で青白い炎が確認できたらガスが着火され正常に運転している状態です。
7. 着火が確認できたら、ガスコントロールダイヤルを放して下さい。
8. ダイヤルで温度調節をします。炎マーク大(強冷)～炎マーク小(弱冷)
9. もし途中で消えても、電子イグナイターが自動的に働き、再び着火し正常運転に戻ります。
10. 運手を止める場合は、ガスコントロールダイヤルを右に回し電子イグナイタースイッチを○側にもどして下さい。

### 注意

走行中は、LPガスでの冷却は危険なため、絶対に使用しないで下さい。



## AC100V使用の場合

1. 冷蔵庫の電源がすべてOFFであることを確認してください。
2. 外部電源AC100Vを入力して下さい。
3. プラグマーク(緑色)のスイッチを入れて下さい。(点灯します)
4. 温度調整ダイヤルで温度を設定します。(0=OFF、1=弱冷～7=強冷)
5. 運転を止める場合はスイッチをOに戻して、ダイヤルの数字を0にして下さい。

## DC12V使用の場合

1. 冷蔵庫の電源がすべてOFFであることを確認してください。
2. エンジンを始動させて下さい。
3. バッテリーマーク(赤色)のスイッチを入れます。(点灯します)
4. 温度調整ダイヤルで温度を設定します。(0=OFF、1=弱冷～7=強冷)
5. 運転を止める場合はスイッチをOに戻して、ダイヤルの数字を0にして下さい。

## 注 意

- ・DC12V電源を使用する場合、消費電力が大きいため(約10A)エンジン停止しての使用はサブバッテリーの容量が極端に減るので、必ずエンジンを始動させてご使用下さい。停車中に使用される場合はLPガスかAC100Vに切り替えてご使用下さい。
- ・この冷蔵庫は家庭用と違い、短時間で食品を冷やす能力が低い為、冷蔵の必要な物はあらかじめ庫内を冷やしてから入れて下さい。また製氷についても、気温により製氷できない場合があります。
- ・庫内に食品を詰め込みすぎないようにして下さい。
- ・冷蔵庫のルーバー一部は直射日光から避け、風通しを良くして下さい。
- ・車両は水平にして下さい。

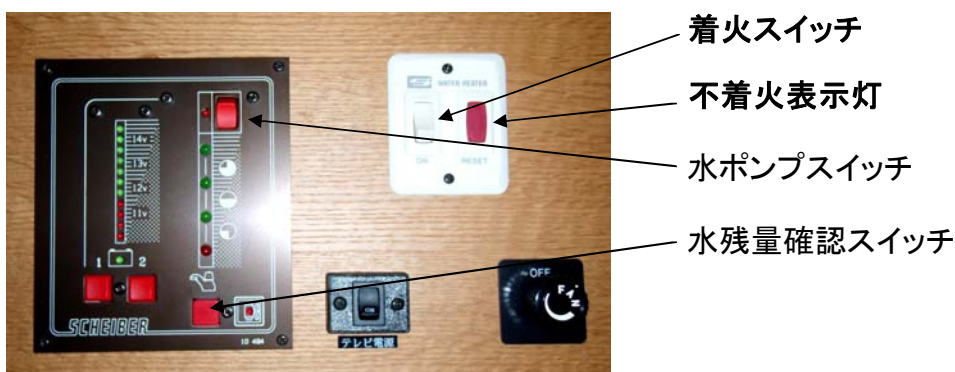
## 8 温水ボイラー

### 使用方法

1. LPガスボンベの元栓を1回半くらいまわして開けます。
2. LPセンサーのスイッチをONにします。
3. 水ポンプのスイッチを入れて下さい。
4. キッチン混合栓からスムーズに水が出ることを確認して下さい。配管内、ボイラータンク内にエアが入っていると水の出が不規則になるので、蛇口を開けたままポンプを回しつつエアを出して下さい。
5. モニターパネルにある温水ボイラー着火スイッチをONにして下さい。
6. 自動的に着火してバーナーで温水を作ります。(沸くには、夏期で20分、冬期40分が目安です)
7. 設定温度に達すると自動的に消火します。使用中タンク内の温度が下がると再び自動着火してお湯を沸かします。
8. 使用後は温水ボイラー着火スイッチをOFFにして下さい。

### 注 意

- ・温水ボイラーの空焚きは絶対しないで下さい。
- ・温水が沸くときにボイラーのプレッシャーバルブから若干の水が吹き出る事があります。
- ・不着火の場合、不着火表示灯が赤色に点灯します。この場合は一度スイッチをOFFして、もう一度ONして下さい。  
(ガス配管内にエアが混入している可能性があります。ON、OFFを繰り返すことでエアが押し出され正常に着火するようになります。)
- ・外部ボイラーパネルの網目から、熱風が排気されるので燃えやすいものを近づけたり、触ったり、ふさいだりしないで下さい。



モニターパネル

## 9 リアヒーター&クーラー

車両エンジンの作動中に使用できます。

### クーラー使用方法

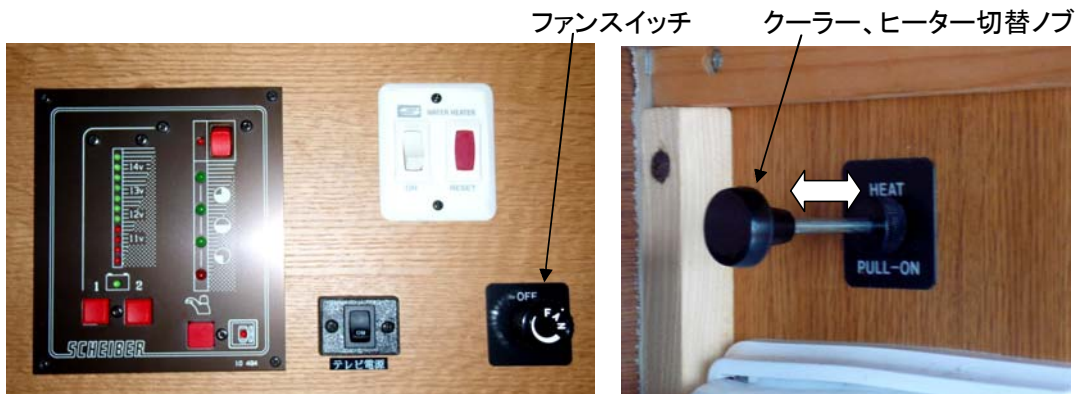
1. 横向きソファの下部(車両左側の外部収納庫)にある切替えノブを押しこんだ状態にして下さい。
2. フロントエアコンのスイッチを入れ作動させて下さい。
3. モニターパネルにあるファンスイッチを入れて、お好みの風量にして下さい。  
リアクーラーはフロントエアコン作動中でないと使用できません。  
風量調整のみで、リア単体での温度調整はできません。

### ヒーター使用方法

1. 横向きソファの下部(車両左側の外部収納庫)にある切替えノブを引いて下さい。
2. フロントの温度調節レバーをヒート側にして下さい。
3. モニターパネルにあるファンスイッチを入れて、お好みの風量にして下さい。  
リアヒーターはフロントヒーターと独立して使用できます。

### 注 意

- ・停車中にアイドリングで長時間エアコンを使用するとエンジンばかりでなく、エアコンシステムがオーバーヒートして冷媒が放出することがあります。  
また、バッテリーの充電が追いつかずバッテリーが上がることもあるので絶対しないで下さい。



## 10 外部電源入力

電源のあるオートキャンプ場ではAC100Vコードを差込むだけで、室内の100Vコンセント、冷蔵庫、バッテリーチャージャーが使用できます。電力を一度に使いすぎるとブレーカーが下がり、電源供給がストップされます。その場合は、使用している電力を減らしてブレーカー(クローゼット内下部)を再度入れて下さい。

### 接続方法

1. 入力カバーの蓋を開けます。
2. AC100Vコードの専用プラグ(青色)をカプラーに確実に差込んで下さい。
3. 100Vコードの反対側にある2極のプラグをコンセントに差込んで下さい。

### 注意

- ・雨天時などは漏電の恐れがあるので、コンセントなど濡れないよう充分注意して下さい。
- ・コードを足などで引っ掛けないように注意して取り回して下さい。
- ・AC100V 15Aの許容を超えないように使用して下さい。



カバー(蓋)

プラグ

## 11 ソファベッド

セカンドシート、サードシートはリクライニング、前後スライド、またベッド展開するときには横方向へのスライドといった多彩な機能を持つソファです。

### ベッド展開方法

1. ダイネットテーブルを取り外しクローゼット内に収納して下さい。
2. セカンドシート、サードシートのヘッドレストを取り外して下さい。
3. セカンドシート、サードシートを前後スライドで車両後方側へスライドさせて下さい。
4. セカンドシートとサードシートのリクライニングレバーを使って背もたれ、及び座面を車両前方へ倒し水平にして下さい。
5. セカンドシート、サードシートを通路側へスライドさせ窓側にある補助ベッドを隙間にセットして下さい。
6. ベッド完成です。



前後スライドレバー      リクライニングレバー  
左右スライドレバー



### 注意

- ・レバー類を操作する時は手をはさんだりする危険性があるので充分注意してゆっくり操作して下さい。
- ・走行中は安全のためベッド使用は禁止されています。
- ・ベッドの上で飛んだり跳ねたりしないで下さい。

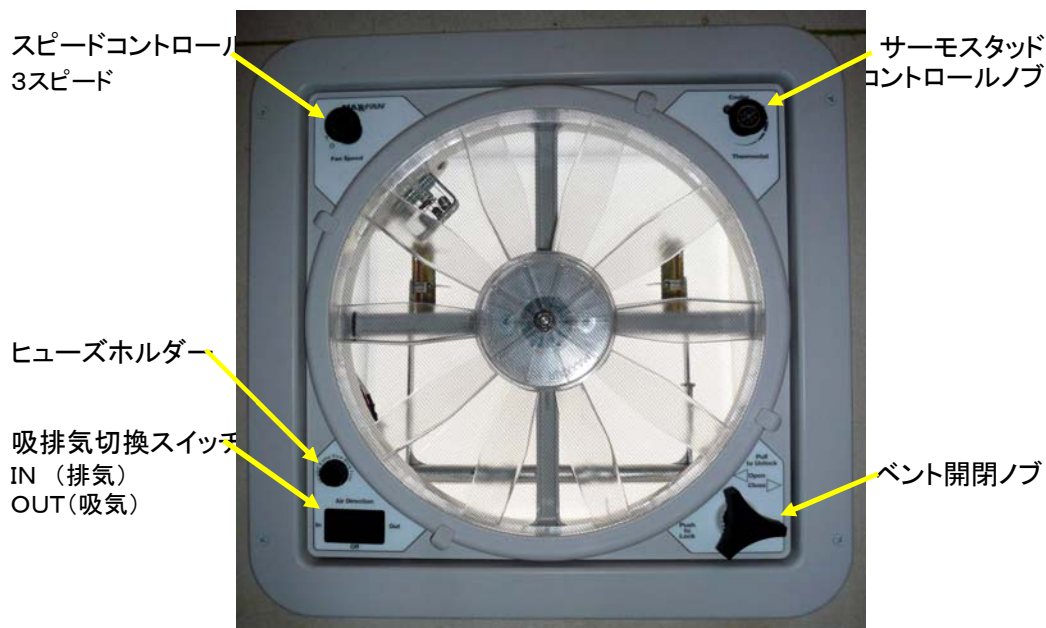


## 12 ルーフベントファン

このルーフベントファンは、開閉機能がついたカバーが一体になっているので雨の日の換気も可能です。室内からカバーの開閉ができスイッチとサーモスタッドとを連動してファンを3スピードでまわす事ができます。

### 使用方法

1. 吸排気切換スイッチをIN(排気)またはOUT(吸気)側に押してください。
2. ベント開閉ノブを回しベントカバーを開けるとファンが回りだします。
3. サーモスタッドを利用して室内がある一定の温度を超えると自動でファンを動作させる事も出来ます。



### 注意

- ・ファンが回転している時に回転を逆転(IN⇔OUT⇔IN)させる際は、ファンが完全に停止してからスイッチを切換えて下さい。

## 13 エントランスステップ

エントランスドアよりキャビン内に昇降するためのステップがあります。  
このステップを出し入れする際には、両手を使って静かに行なってください。

### 注 意

1. ステップ部は必ず1人ずつ昇降してください。一度に何人もステップに乗ると重みでステップが破損します。
2. 走行前にはステップが収納されていることを確認してからエンジンの始動を行なってください。  
危険ですので、くれぐれもステップを出したままの走行は絶対しないで下さい。





## 14 エントランスドア

### 解錠の仕方

1. 車両外側からキーで右へ90度まわすと解錠できます。  
(キーを抜くときは元の位置に戻して下さい。)
2. 室内からは、ハンドルの下にあるノブを引くと解錠できます。



### 施錠の仕方

1. 車両外側からキーで左へ90度まわすと施錠できます。  
(キーを抜くときは元の位置に戻して下さい。)
2. 室内からは、ハンドルの下にあるロックノブを押すと施錠できます。

### 注 意

- ・施錠する時にエントランスドアが完全に閉じていないと、ロックノブが動かない場合があります。ドアを完全に閉じてから施錠して下さい。
- ・走行中は、エントランスドアの施錠を必ず行なって下さい。
- ・走行中は、エントランスドア付近には絶対に立たないで下さい。

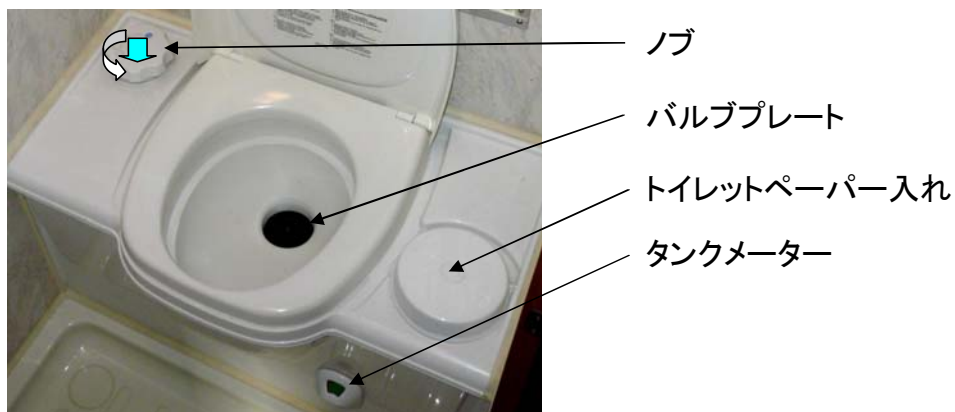
## 15 トイレ

### 使用方法

1. ノブをまわしバルブプレートを開けタンク内の気圧を下げてからバルブプレートを閉じ使用します。
2. ご使用后、ノブをまわしバルブプレートを開け水を流して下さい。
3. 水を流した後、ノブをまわしてバルブプレートを閉めて下さい。

### 注 意

- ・汚物タンクのつまりを防ぐ為、トイレットペーパー以外の紙は使用しないで下さい。
- ・使用しない時は、便器内のバルブプレートを確実に閉めて、汚物や臭いが走行中に逆流しないようにして下さい。
- ・汚物タンクメーターでタンクの容量を確認して下さい。(緑色＝空、赤色＝満タン)

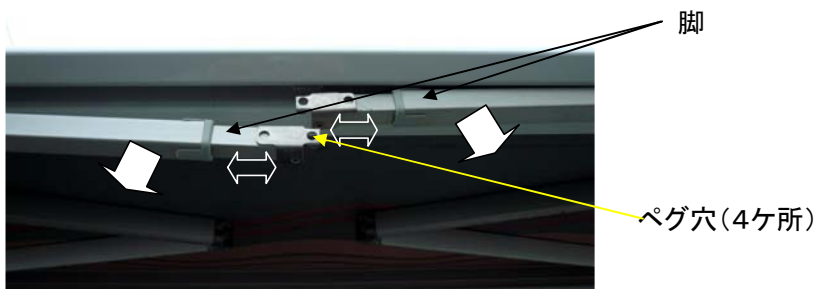


## 16 サイドオーニング

1. サイドオーニング端部のクランクにオーニングハンドルを差込み、左にまわして下さい。(オーニングハンドルは外部収納庫にあります)



2. オーニングを1.5mくらい張り出したところで、前面カバー内側に収納してある脚を外側にスライドさせ引き出して下さい。



3. そのまま脚を地面に立て、高さを調節してロックして下さい。
4. 張り出したところで、脚の長さを再度調節して脚下端部をペグでしっかり地面に固定して下さい。
5. 地面がアスファルトの時などは、ボディの固定金具に脚を固定して下さい。



### 注意

- ・風にあおられて破損することがありますので、脚はペグでしっかり固定して下さい。
- ・風の強い時や降雪時は使用を避けて下さい。
- ・走行前にオーニングが確実に収納されていることを確認して下さい。

## 17 給油

この車両の燃料は軽油（ディーゼル）です。68リットルタンクが装備されています。

### 給油方法

1. 車両右側（運転席側）のサイドパネルドアを開け、ドアストッパーをかけます。
2. 給油口のキーを解除して蓋を開け、給油します。
3. 給油が終わったら、逆の手順で蓋をしてドアを閉めます。
4. 走行中、ドアが開かないようにキーは必ずかけてください。

